

2025 年度 大学院 (博士後期課程) 入学試験問題

(科目名: 第 1 群 英語)

(文学研究科 全専攻共通)

2025 年 2 月 24 日 (月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(Adapted from Steven Pinker, *Enlightenment Now: The Case for Reason, Science, Humanism and Progress*, p.8)

- 問 1. 下線部①が表す内容を本文に則して日本語で説明しなさい。
- 問 2. 下線部②と③を日本語に訳しなさい。
- 問 3. “It was reason...”で始まる本文第三段落に書かれている内容を日本語で要約しなさい。

II. 以下の英文を読んで、100 字以内の日本語で要約しなさい。

【引用部分は削除しています】

(Adapted from Kara Baskin, “The Fractured, Surprising, and Sobering Truth About Kids and Smartphones”, *Boston Magazine*)

- III. What was the most important change in the world over the past 50 years?
Write your answer in English, using around 150 words.

2025 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題解答用紙

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:第1群 英語)

2025年2月24日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I.

問1

①

問2

②

③

問3

II.

[illegible]

2025 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題解答用紙

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:第 1 群 英語)

2025 年 2 月 24 日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

III.

得点

二〇三年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名: 第1群 日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。解答は、解答欄に縦書きで記しなさい。

【引用部分は削除しています】

二〇二五年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名: 第1群 日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025 年 2 月 24 日(月)

【引用部分は削除しています】

二〇二五年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名: 第十群 日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

【引用部分は削除しています】

(増井元『辞書の仕事』による)

問一 二重傍線部 a j の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

問二 破線部アオのカタカナを漢字で書きなさい。

問三 傍線部①「現代語辞典の役割」とありますが、著者は見坊氏の文章から「現代語辞典の役割」をどのように捉えていますか。

「鑑」「鑑」「誤用」「ことばの変化」という四つの語を使い、本文全体を読んだうえで説明しなさい。

問四 空欄 A と B を補う語句として、最も適当な組み合わせを、①～④から選んで、番号で答えなさい。

- | | | |
|---|--------|--------|
| ① | A 記述主義 | B 記述主義 |
| ② | A 記述主義 | B 規範主義 |
| ③ | A 規範主義 | B 記述主義 |
| ④ | A 規範主義 | B 規範主義 |

問五 傍線部②「あらたに」という言葉を使用して、短文を作りなさい。

問六 傍線部③「そのような現れ」とは、どのようなことを指しているのか説明しなさい。

問七 傍線部④「食い下がられます」とありますが、「食い下がる」の辞書的意味を書きなさい。

問八 傍線部⑤「多くの人が普通に使っている『誤用』を辞典が正すことはほとんど不可能です。誤用には誤用の理屈があるからです」とありますが、これはどのようなことを述べていますか。「誤用の理屈」とは何を指しているのかを示したうえで、説明しなさい。

二〇三年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名第1群 日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

解答

問一

a	b	c	d	e
f	g	h	i	j

問二

ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---

問三

--

問四

--

問五

--

二〇三五年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名: 第1群 日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025 年 2 月 24 日(月)

問六

--

問七

--

問八

--

得点

2025 年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:第2群 ①英語)

2025 年 2 月 24 日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I. 次の英文を読んで、下線部（本文 1 行目）が表す 3 種類の内容について、本文に則して日本語で具体的に説明しなさい。

【引用部分は削除しています】

(Adapted from Yoshio Sugimoto, *An Introduction to Japanese Society*, pp. 3-4)

II. 以下の英文を読んで、100 字以内の日本語で要約しなさい。

【引用部分は削除しています】

(Adapted from George Orwell, *Animal Farm*, p.1)

III. What can we gain by visiting different countries? Write your answer in **English**, using around 150 words.

2025 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題解答用紙

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:第2群 ①英語)

2025年2月24日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I.

II.

[illegible]

2025 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題解答用紙

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:第 2 群 ①英語)

2025 年 2 月 24 日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

III.

得点

二〇二五年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 真宗学専攻)

(科目名:第2群 ②仏教漢文(真宗学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

※罫線縦書きの解答用紙に問題番号を記して解答を記入してください。

一、次の(一)～(三)の漢文を書き下し、現代語に訳しなさい。

(一) 我聞無量寿經、衆生聞是仏名信心歡喜乃至一念、願生彼国、即得往生、住不退転。

不退転者梵語謂之阿惟越致。法華經謂弥勒菩薩所得報地也。一念往生、便同弥勒。

仏語不虛、此經寔往生之徑術、脫苦之神方。応皆信受。

(二) 又言如是者即指法。定散兩門也。是即定辭。機行必益。此明如來所說言無錯謬。故

名如是。又言如者如衆生意也。隨心所樂、仏即度之。機教相応復称為是。故言如是。

(三) 若依涅槃經仏性為宗。若依維摩經不可思議解脫為宗。若依般若經空慧為宗。若依大

集經陀羅尼為宗。今此觀經以觀仏三昧為宗。若論所觀不過依正二報。

二、次の漢文を読み、以下の設問(一・二)に答えなさい。

言本願力者、示大菩薩於法身中、常在三昧而現種種身、種種神通、種種說法。皆以

本願力起。譬如阿修羅琴雖無鼓者而音曲自然。是名教化地第五功德相。

設問(一) 当面の意に沿って、全文を書き下しなさい。

設問(二) 傍線部「大菩薩」について、観鸞における解釈を述べなさい。

二〇二五年度大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 仏教学専攻)

(科目名第2群 ②仏教漢文(仏教学))

2025年2月24日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問題】 次の漢文を読んで、以下の問に答えなさい。

佛告勝鬘。汝今更説一切諸佛所説攝受正法。勝鬘白佛。善哉世尊。唯然受教。即白佛言。世尊。攝受正法者是摩訶衍。何以故。摩訶衍者。出生一切聲聞緣覺世間出世間善法。世尊。如阿耨大池出八大河。如是摩訶衍。出生一切聲聞緣覺世間出世間善法。世尊。又如一切種子皆依於地而得生長。如是一切聲聞緣覺世間出世間善法。依於大乘而得增長。是故世尊。住於大乘攝受大乘。即是住於二乘。攝受二乘一切世間出世間善法。(中略)世尊。阿羅漢辟支佛有怖畏。是故阿羅漢辟支佛。有餘生法不盡故。有生有餘梵行不成故。不純事不究竟故。當有所作。不度彼故。當有所斷。以不斷故。去涅槃界遠。何以故。唯有如來應正等覺得般涅槃。成就一切功德故。阿羅漢辟支佛。不成就一切功德。言得涅槃者。是佛方便。唯有如來得般涅槃。成就無量功德故。阿羅漢辟支佛。成就有量功德。言得涅槃者。是佛方便。唯有如來得般涅槃。成就不可思議功德故。阿羅漢辟支佛。成就思議功德。言得涅槃者。是佛方便。唯有如來得般涅槃。一切所應斷過皆悉斷滅。成就第一清淨。阿羅漢辟支佛有餘過。非第一清淨。言得涅槃者。是佛方便。唯有如來得般涅槃。爲一切衆生之所瞻仰。出過阿羅漢辟支佛菩薩境界。是故阿羅漢辟支佛。去涅槃界遠。言阿羅漢辟支佛觀察解脫四智究竟得蘇息處者。亦是如來方便。有餘不了義説。何以故。有二種死。何等爲二。謂分段死。不思議變易死。分段死者。謂虛僞衆生。不思議變易死者。謂阿羅漢辟支佛大力菩薩意生身乃至究竟無上菩提。

(『勝鬘師子吼一乘大方便方廣經』「一乘章第五」)

阿耨大池Ⅱインド四大河の発源地の池と言われ、無熱惱、無熱と訳される。

瞻仰Ⅱ仰ぎみること。蘇息處Ⅱ安息処のこと。

【問一】 傍線部を書き下し文にして、和訳しなさい。

【問二】 この漢文の大意を述べなさい。

二〇三五年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名第2群 ④古典漢文(日本史学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

外国語筆答試験(日本史学専攻)(I/4)

次の(一)～(四)の史料問題のうち二題を選び、各設問に答えなさい。(選択した番号を明記すること)

(一) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

(A) 庚申。詔曰。(中略)是日。^①皇太子自内裏帰於東宮。即日戊時。出置乙訓寺。是後。太子不自飲食積十余日。遣宮内卿石川垣守等。駕船移送淡路。比至高瀬橋頭。已絶。載屍至淡路。葬云々。(後略)。

(『日本紀略』延暦四年九月二十八日条)

(B) 戊申。(中略)山背国部内諸寺浮図。經年稍久。破壞处多。詔遣使咸加修理焉。

(『続日本紀』延暦十年四月十八日条)

(C) 十二年四月丙子。制。自今以後。年分度者。非習漢音。勿令得度。

(『類聚国史』卷一八七 佛道十四 延暦十二年四月二十八日条)

(D) 七月辛亥。遣使於^②川原長岡阿寺誦經。聖躬不予也。

(『類聚国史』卷三四 帝王一四 大同五年七月十三日条)

問一 史料(A)～(D)の全文を読み下し文(漢字仮名交じり文)にしなさい。

問二 傍線部①の人物と天皇との関係について、説明しなさい。

問三 史料(A)に至る歴史的事件の顛末とその背景について、説明しなさい。

問四 史料(B)について、その内容と歴史的背景について、説明しなさい。

問五 史料(D)は誰の不予に伴う誦経か。また、傍線部②の寺院との関係について、説明しなさい。

問六 史料(A)～(C)の時代における仏教政策について、説明しなさい。

二〇二五年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

外国語筆答試験 (日本史学専攻) (2/4)

(一) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(高野山文書)

問一 傍線部①を転記して、訓点を施しなさい。

問二 傍線部②を読み下し文(漢字仮名交じり文)に改めなさい。

問三 傍線部③を、現代語訳しなさい。

問四 傍線部④を、現代語訳しなさい。

二〇二五年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025 年 2 月 24 日(月)

外国語筆記試験 (日本史学専攻) (3 / 4)

(三) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(山内莊司文書「摂州多田銀銅山濫觴来歴申伝略記」)

※【出題者註】問彦(まげ)：坑道

問一 傍線部①を読み下し文(漢字仮名交じり文)にしながらい。

問二 傍線部①を筆写し、返り点を付けながらい。

問三 傍線部②を読み下し、すべて平仮名で表記しながらい。

問四 右の史料に関連する(一)～(三)のうち、一つを選択し解答しながらい(選択した番号を最初に記すこと)。

- (一) 「紺青」について説明しながらい。
- (二) 狩野山楽、および狩野派について説明しながらい。
- (三) 戦国・織豊期から江戸初期にかけての金・銀・銅鉱山について説明しながらい。

二〇三年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

2025年2月24日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験 (日本史学専攻) (4/4)

(四) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

(A) 諸国ノ高札是迄ノ分一切取除ケイタシ別紙ノ条々改テ揭示被仰付候自然風雨ノタメ字章等塗滅候節ハ速ニ調替可申事

①但定三札ハ永年揭示被仰付候覺札ノ儀ハ時々ノ御布令ニ付追テ取除ノ御沙汰可有之尚御布令ノ儀有之候節ハ覺札ヲ以揭示可被仰付候ニ付速ニ相掲偏覽ニ至ルマデ朝廷御沙汰筋ノ儀拝承候様可被相心得候事追テ王政御一新後揭示ニ相成候分ハ定三札ノ後ハ当分揭示致置可申候事

三月

(別紙)

(中略)

第三札

定

一切支丹邪宗門ノ儀ハ堅ク御制禁タリ若不審ナル者有之ハ其筋之役所ヘ可申出御褒美可被下事

慶応四年三月

太政官

第四札

覺

②今般王政御一新ニ付朝廷ノ御条理ヲ追ヒ外国御交際ノ儀被仰出諸事於朝廷直ニ御取扱被為成万国ノ公法ヲ以条約御履行被為在候ニ付テハ全国ノ人民散言ヲ奉戴シ心得違無之様被仰付候自今以後振リニ外国人ヲ殺害シ或ハ不心得ノ所業等イタシ候モノハ朝命ニ悖リ御国難ヲ醸成シ使而已ナラス一旦御交際被仰出候各国ニ対シ皇国ノ御威信ヲ不相立次第甚以不屈至極ノ儀ニ付其罪ノ輕重ニ随ヒ士列ノモノト雖モ削士籍至当ノ典刑ニ被処候条銘々奉朝命獨リニ暴行ノ所業無之様被仰出候事

三月

太政官

(慶応四年三月一五日第一五八)

(B) ③先般御布令有之候切支丹邪宗門ハ年来固ク御制禁ニ有之候処其外邪宗門ノ儀モ總テ固ク被禁候ニ付テハ混淆イタシ心得違有之候テハ不宜候ニ付此度別紙之通被相改候条早々制札調替可有揭示候事

(別紙)

一切支丹邪宗門ノ儀ハ是迄御制禁之通固ク可相守事

一邪宗門之儀ハ固ク禁止候事

慶応四年三月

太政官

(慶応四年閏四月四日第二七九)

問一 傍線部①を現代語訳しなさい。

問二 傍線部②を、名詞・熟字の他は平仮名を用いて、読み下し文(漢字仮名交じり文)に改めなさい。

問三 傍線部③を現代語訳しなさい。

問四 史料(B)は、史料(A)中の「第三札」の「定」を改正したものであるが、改正した意義とその後のキリスト教をめぐる政府の政策について、知るところを述べなさい。

二〇三五年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 東洋史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(東洋史学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025 年 2 月 24 日(月)

問一 次の文について、(1)(2)に答えなさい。別紙の解答用紙に、必ず問題番号を記入しなさい。

四明文獻錄一卷浙江范懋柱家天一閣藏本明黃潤玉撰潤玉字孟清鄞縣人永樂庚子舉人官至廣西提學僉事蹟具明史本傳是編成於成化丙戌以四明文獻分爲二類一日鄉先生自漢夏里黃公以下三十五人皆四明產也一日鄉大夫自周文種以下九人皆官於四明者也人各有傳并系以贊據卷末其孫溥跋蓋原本尚有諸人小像後莫鳳重刊以非原本則除之跋又稱是書未出以前有偽本託潤玉之名以行潤玉知而燬之其本前無序後無贊云

(『四庫全書總目提要』史部十七傳記類存目三、四明文獻錄。中華書局)

- (1)書き下し文にしなさい。
(2)現代日本語に翻訳しなさい。

問二 次の文について、(1)(2)に答えなさい。別紙の解答用紙に、必ず問題番号を記入しなさい。

大慶孝戰國之事與通鑑所載多有不合如蘇秦說六國以合從史記以爲齊宣魏襄通鑑則以爲齊威魏惠〔史記見蘇秦本傳〕(中略)原通鑑所編溫公多因之前史今乃不同若此何耶推其所自皆起於齊宣魏襄之立年歲既已不同故紀事因而亦異蓋史記齊宣立於周顯王二十七年通鑑以爲三十六年相去凡十年矣史記魏襄立於顯王三十五年通鑑以爲觀王之二年〔顯王在位四十八年而觀王立相去凡十五年矣夫其即位歲月既已差舛則中間所載之事烏得不抵牾乎

(葉大慶『考古質疑』佚文、論史記與通鑑紀事不同。永樂大典卷一萬二百五十六。上海古籍出版社)

- (1)書き下し文にしなさい。なお〔 内の原注も 〕を付して答えなさい。
(2)現代日本語に翻訳しなさい。
(3)問題文の要点を適切に説明しなさい。

【参考】

○問二 中略部分：齊魏會于徐州以相王史記以爲齊宣魏襄通鑑以爲齊威魏惠〔周顯王三十五年〕孫臏勝龐涓龐大子申史記以爲齊宣〔齊魏世家皆以爲宣王元年齊宣王二年〕通鑑以爲齊威蘇秦說齊王尚官至大宛史記以爲齊襄通鑑以爲齊宣〔蘇秦傳秦亡齊宣王以爲安釐王卒宣王即位秦說齊王尚官至大宛〕意欲倣齊而爲燕通鑑則謂秦說宣王據孟子言宮與四十里之國皆謂之宣王則與通鑑合

二〇二五年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本語日本文学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(蘇軾「日喻」より)

- 注 ○南方＝中国の南方。大河の河口が諸所にあり、海にも沿っている。
○壮＝壮年。血氣盛んな年齢。三十歳ごろ。 ○北方＝中国の北方。山が多く、陸の交通、馬術が発達する。 ○務＝熱心に行う。はげむ。
○声律＝詩文(の作成)。 ○經術＝昔の賢人の著した經書の研究。

問一 傍線部①「与水居」とありますが、これは具体的にどのようなことを指しているのでしょうか。なるべく簡潔に説明しなさい。

問二 傍線部②「没者豈苟然哉」をすべてひらがなで書き下し、現代語訳を記しなさい。

問三 傍線部③「必将有得於水之道者」は「かならずまさにみずのみちをうる」とあらんとす」と読みます。この読み方に従って返り点を施して下さい。送り仮名は不要です。

問四 傍線部④「所以」とありますが、この意味として最も適当なものを以下から一つ選びなさい。

- 1 由来 2 方法 3 理由 4 行為

問五 傍線部⑤「未有不溺者也」をすべてひらがなで書き下し、現代語訳を記しなさい。

問六 この文章における「学」と「道」は、それぞれどのような意味を持っていますか。なるべく簡潔に説明しなさい。また、著者は「学」と「道」はどのような関係にあるものだと考えていますか。自由に述べてください。